

専門教育科目		演習科目		*「キャリア心理学」の学問領域とは学習内容が異なりますのでご注意ください。		受講料		5,000円					
科目名： キャリアに活かす心理学						科目コード		EK25					
						単位		2					
						配当年次		1					
科目主査： 永山 祐輔						担当講師： 永山 祐輔							
授業の目的と概要						グループワーク： ☒ あり ☐ なし				個人ワーク： ☒ あり ☐ なし			
近年メンタルヘルスの維持・促進が重要視される風土が育まれてきていますが、自らのキャリア形成の中で自分や他者の抱える困難さに“気づく”ことができる人材はまだまだ少ないのではないのでしょうか？このような“気づき”を得るためには、個人が発達段階の中で遭遇しうる困難さとその個人を取り巻く状況を見立てる“視座”を持つことが大切です。本科目では、臨床心理学の中でも特に〈心理アセスメント〉に重点を置き、体験的・実践的な方法を取り入れながら、みなさんのキャリア形成に援用できる視座を獲得することを目指します。また、心理職に関心がある方、心理職を志望される方のキャリア形成の一助となれば幸いです。													
履修の前提となる科目			☐ あり ☒ なし			科目名：							
履修の前提となる知識 その他特記事項			①心理アセスメントの一環として、心理検査を用いた自己・他者分析を行います。心理検査の実施に抵抗がある方、守秘義務の徹底を順守できない方の受講はご遠慮ください。②グループワークが主となる科目のため、ワーク実施中に積極的・協調的な姿勢を持つことへの抵抗がある方の受講はご遠慮ください。										
テキスト		『よくわかる臨床心理学〔改訂新版〕』下山晴彦（編），ミネルヴァ書房, 最新版											
この科目の到達目標		①臨床心理学的な視点を用いて、心理社会的な問題を考察することができる。 ②心理社会的問題を抱えた方に対する実践的な支援方法、サポート資源などについて理解することができる。 ③日常生活上での出来事に対して、多面的な視点を用いた解釈・考察ができる。											
成績評価の方法		授業中の姿勢、課題、最終課題等、総合的な評価を行います。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。											
事後学習		自分や周囲の人間の不調に“気づき”、適切な支援の提供、周囲のサポート資源の活用ができるようになることを目指して学習を継続してってください。											
事後学習の参考文献		『心理アセスメントの理論と実践—テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで』高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太（編著）岩崎学術出版社，2020年											
スクーリング受講時に用意するもの													
☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒ 学生証													